

平成23年度 学校経営方針

いたばしの教育ビジョン

“いきいき子ども！ あたたか家族！ はつらつ先生！ 地域が支える板橋の教育”
を踏まえ、いたばし学び支援プランの具現化を図っていきます。

そのために、教職員は以下の“3つのワーク”で取り組んでまいります。

3つの“ワーク”

- ① **チームワーク** … 組織、協働、共通理解
- ② **フットワーク** … 判断力、決断力、実践力
- ③ **ネットワーク** … 報告・連絡・相談

■ 1 創立137年の輝かしい歴史と伝統を有する小学校として、充実・発展を目指します。

- (1) 日本国憲法・新教育基本法に基づき、知・徳・体の調和のとれた児童の育成を目指します。
- (2) 公教育としての性格を明確にするとともに、児童、学校、家庭・地域社会の実態を考慮して、新学習指導要領に沿った、信頼され開かれた教育を推進します。
- (3) 校舎改築について区と打ち合わせを密にし、新校舎完成に向けて滞りなく進めます。

■ 2 教育目標の具現化に努め、生きる力を育てる学習を推進します。

【板橋第一小学校の教育目標】

- | | |
|----------------|----------------------------|
| ㉠ つも明るく | 親切に・正直に・挨拶・礼儀・人とかかわる力 |
| ㉡ のしく学び | 基礎学力・情報教育・自分で考える |
| ㉢ ちょうのようにたくましく | 地域と連携・発展学習・地域学習・自分のことは自分です |
| ㉣ からみなぎる | 心身の健康・安全・体力向上・命の大切さ |
| ㉤ 学校 | 生涯学習の基礎・コミュニケーション力 |

■ 3 取り組みの重点

学校は、基本的に勉強するところですが、同時に、子供たちの豊かな人間形成のための大切な場でもあります。

本校は、板橋区で最も歴史があり、伝統を有する小学校として期待されています。「是非、板一小に入れたい、板一小で勉強させたい」という保護者・家庭・地域を創っていきたいと考えています。

(1) 子ども一人一人の個性や能力に応じて、基礎学力と社会性を基にした「生きる力」を育てます。

- ① 基礎的・基本的な知識や技能を、くり返し学習・活用し、思考力・判断力・表現力等を育てます。
- ② 観察・実験・調べ学習等の体験的学習を各教科の学習に取り入れるとともに、環境や地域の学習を充実させます。(大山公園の清掃活動、板橋宿を歩いて調べる活動 等)
- ③ 「わかる授業」の展開に努め、フィードバック学習を取り入れ、確実な基礎学力の定着を図ります。
- ④ 年間35時間の道徳授業を確実にを行うとともに、全教育活動を通して道徳教育・人権教育を行います。いじめをなくし、自分も友達も大切にす道徳的実践力を育み、コミュニケーションを図ろうとする態度・能力を育てます。

- ⑤「縦割り班活動」「登校班活動」から優しさを育み、進んであいさつし、ていねいな言葉づかいで話す子の育成を図ります。
- ⑥百人一首や古今の名文を読み、郷土の学習等を通して伝統文化を学習し、校庭の大銀杏等を通して地域との交流を図ります。
- ⑦いつでも、どこでも、どの教科等でも情報機器を活用し学習を行うとともに、高い情報モラルを育てます。
- ⑧全教育活動を通して「体力づくり」に取り組みます。
- ⑨学校は集団で学習し行動する場。集団の一員として、よりよい集団づくりと、規則を守ることの大切さを育みます。

(2) 具体的な取り組み

- ①全教科で「教科書をきちんと教える授業」を実施します。教員は、計画的・系統的・継続的に教育活動を実施します。
 - ②「読み」について
 - ・音読を毎日の学習の中に取り入れ、全員が教科書をよどみなく読める力を育成します。
 - ・学期に20冊以上、年間60冊以上の読書を奨励し、本好きの子を育みます。
 - ③「書き」について
 - ・教科書の視写、板書の書き取り、漢字の繰り返し練習を必ず取り入れた指導過程を組みます。
 - ・書くことを通して、言語力・表現力・思考力を育てます。
 - ④「計算」について
 - ・計算力（四則計算）は算数の要です。速く・確実にできるように、反復練習を取り入れます。
 - ・少人数指導の有効的活用を図り、計算の得意な子を育成します。
 - ⑤「運動」について
 - ・板一小としての「一校一取組」を推進します。
- ※「②読み、③書き、④計算」については、反復練習を行い、徹底した定着を図ります。
- ※「モジュールの時間」を有効的に活用します。

■ 4 学校の進むべき方向

(1) 児童が充実感や満足感を日々感じる学校

子供たちの基礎的・基本的な学力の定着に全校で取り組みます。

「やった!」「できた!」という達成感・成就感を、学校中で味わわせたいと考えています。そして、子供たちができた時は、教員は必ず「褒める」ように努めます。

達成感や自己肯定感につながり、それは次への意欲につながります。学校生活に充実感・満足感をもつ子供たちを育て、「明日も子どもが行きたいと待ち望む学校」に。

(2) 教師と児童、児童相互に心が触れ合い、命を大切にする学校

- ・全教職員で子供たちを育てます。
- ・子どもと話し・遊び、互いに心が通い、触れあう学校を創ります。
- ・様々な生育環境の児童を全て温かく受け入れ、認め、励ましていきます。
- ・かけがえのない自分や友達の命を何よりも大切にし、たくさんの人のお陰で今の自分の命が続いており、自分一人で左右する命ではないこと、決して命を粗末にはしてはいけないことを、温かく、時に厳しく指導し、支援し続けます。
- ・安全教育を徹底し、子どもの安全意識のより一層の向上を図ります。

(3) 生涯学習の基礎づくりを果たしうる学校

- ・見える学力として、読み・書き・計算等の基礎学力と、安全な身のこなしができる運動能力をしつ

かり定着させ、学び運動し続ける子どもを育てます。

- ・「親切」「正直」「挨拶」「礼儀」や「体力」等の見えない学力も必須のものであることを、教職員が自覚し、子供たちの指導を行います。
- ・教師自身が日々研鑽する姿を通して、子供たちを感化していきます。
- ・教職員の間では、報告・連絡・相談を丁寧に行います。

(4) 地域に根ざす学校

- ・地域の方々が学校に気軽に足を運び、教職員も地域に出向き、地域の人と顔見知りになる学校を創ります。(顔見知りになり、挨拶を交わし話すことが協力・支援のはじめです。)

(学校の信頼は、教職員が地域の方々と気軽に話せ、地域活動に参加することで育まれると考えています。)

■ 5 その他

- ① 教育は「行政の最先端」という認識をもち、教育行政(板橋区教育委員会等)と連携して教育実践を行います。
- ② サービスの厳正に努め、「全体の奉仕者」としての自覚をもって行動します。